



発行日
平成30年11月13日第137号
林野庁 北海道森林管理局
釧路湿原森林ふれあい推進センター

秋の学校林活動

10月25日(木)、標茶町立中茶安別小中学校の学校林「るんるんフォレスト」で、「秋の学校林活動」が開催されました。

今回は、来春の学校林の植樹に当たり「子ども達が、森林の将来像をイメージしながら、植栽する樹種を検討したいので、春の学習内容を深める内容でお願いします。」と、担当の先生からお話があり、樹木の特徴や適応性等をテーマとして、学校林活動を支援しました。

まず始めに冬囲いが行われ、子ども達は慣れた手つきで「実のなる木」を積雪から守るための竹囲いとネズミ等の野生生物による食害に遭わな



▽解説を聞く子ども達の様子



▽検討の様子



▽新たに設置した看板の前で集合写真

いよう、根元をペットボトルで被覆していました。

その後、植栽箇所へ移動し、当センター職員から、イヌエンジュ・エゾヤマザクラ・オニグルミを含めた、17種類の樹木について「花・実・紅葉が美しい」や「香りが良い」等の特徴また、「人工林で必要な作業」、「木と植える場所の相性」や「森のいきもの」等も解説しました。

最後に各班の代表から、「春の花・秋の実等、四季を楽しめる森林」や「食べ物や薬になる森林」等、植栽したい樹種の発表があり、来春の植樹に向けて、児童・生徒の検討が続きます。

黄金色のカラマツ林を眺望



▽黄金色に染まるパイロットフォレスト

10月28日(日)と29日(月)の2日間、パイロットフォレスト国営林の見学会が開催されました。

この催しは、根釧西部森林管理署が、厚岸町と標茶町に広がるパイロットフォレストについて、造成当時、造林作業で使用していた機械やその映像等を地域住民の方々へ紹介するとともに、普段は立入ることができない望楼から、



▽360° 見渡せる「望楼」

黄葉のカラマツ林を眺望していただくため、開催したものです。当センターは28（日）に、「高さ24mに位置する望楼の展望室は、カラマツの樹高より高い所にあるため、この時期は黄葉が360度のパノラマで見られます。また、天候が良ければ、雄阿寒岳や雌阿寒岳、国後島も遠望できます。」等と、望楼での解説を担当しました。

当日は、20名を超える参加があり、地域住民の方々に黄金色に染まったカラマツ林やパイロットフォレストの歴史を堪能いただきました。

参加者からは、「秋の紅葉の時期の他、春の若葉時期や夏の深緑の時期も開催してほしい。」等の感想がありました。



▽刈出し前の様子



▽刈出し後の様子

第4回「雷別ドングリ倶楽部」

11月7日（水）、国有林をフィールドとして自然再生（森林再生）に取り組むボランティア団体「雷別ドングリ倶楽部」が、今年度4回目の活動を実施しました。

当初は、森林整備作業地の見学を予定していましたが、急遽、内容を変更して「雷別自然再生事業地」で、稚樹の刈出し等を行いました。

今回は、昨年の7月12日と26日の猛暑の中、植栽木をノウサギの食害から保護するため、防兎柵を設置した箇所で、稚樹の刈出しを行ったもので、会員の皆様は秋も深る寒空の笹地12で、黙々と作業を行っていました。



▽学校林の説明を聞く会員の様子



▽学校林の看板の前で

また、午後からは、標準茶町立中茶安別小中学校の「ふるふるフォレスト」（学校林）を見学し、当センター職員が、学校林の概要や活動支援の内容を説明しました。

会員の皆様からは、「もつと、森林整備の作業をしたかった。」や「学校林活動の内容を知ることができて、良かった。」等の感想がありました。



国民の森林・国有林

林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター

〒085-0825 北海道釧路市千歳町6番11号

【IP】050-3160-5787 【TEL】0154-44-0533 【FAX】0154-41-7305

【E-mail】h_kushiro_f@maff.go.jp

【URL】http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html



当センターは、国有林をフィールドとして、北海道の多様な自然との共生に向けた自然再生活動に取り組むNPO等の活動支援、森林環境教育等に携わる教育関係者の支援・技術指導等を行っています。